

志賀町小学校英語教育活動プロジェクト

団体名●KSCG／代表者名●前田昌寛(人文学部国際文化学科・准教授)

はじめに

KSCG (Kanazawa Seiryō Crossover Generation) は、様々な世代の人々との交流し、自分たちを高め合いながら、英語を通して社会貢献することを目的に活動をしているサークルです。

2020年度より新小学校学習指導要領が全面実施され、小学校3年から「外国語活動」、そして小学校5年からの「教科化」が始まりました。そのねらいは、外国語(英語)を「聞くこと」「話すこと(やり取り・発表)」を中心に、英語に慣れ親しませ、学習への動機付けを高めることにあります。英語を使った活動はKSCGの得意とする分野であり、「小学生の英語学習への動機づけとなってもらえたら」という目的でプロジェクトを行いました。

活動内容

2022年10月30日、本学学生9名が志賀町にある古民家「梢」を訪問し、小学生10名と活動を行いました。午前中に「アイスブレイク」、お昼には「料理を通じて交流」、午後からは「街巡りをしながら英語クイズ」と「古民家で英語を使った宝探し」という、自然に英語に慣れ親しめるよう企画しました。

■アイスブレイク

歌に合わせて、自己紹介をしました。最初は大学生も小学生も緊張が隠せないようでしたが、上手く歌えて、緊張もほぐれていきました。



英語の歌に合わせて英語で自己紹介に挑戦

■街巡りをしながら英語クイズ

「英語が楽しい」と感じる瞬間は、「英語が使えた・通じた」と感じる瞬間にほかなりません。街巡りをしながら、英語を使ってクイズをしたり、見たものを英語で表現したり、志賀町だからこそ味わえる雰囲気の中で、真の英語使用を体験しました。



街を巡りながらたくさん英語にふれる

成果、結果の考察

参加してくれた小学生からは、「英語が楽しい」「また話してみたい」という声が全員から聞かれました。これは「自ら学んでみたい」という内発的動機付けであり、言語学習には欠かせないものです。

楽しかったこと、良かったことを書いてください。
みんなといろいろなゲーム、えいごで、しごしょう会を話して、楽しかったです。

② つぎ、やってみたいこと、してみたことがあったら書いてください。
もっとえいごがしゃべれるようにしたいです。

資料：参加してくれた小学生のアンケート（一部抜粋）

今後の課題、展望

プロジェクトを継続していくため、ノウハウの蓄積と伝承が課題です。サークル内だけでは困難な部分もあり、「英語教育実践センター」のように、園児から大学生まで一貫した英語教育実践のノウハウの蓄積と伝承が可能な組織の必要性を感じています。